

# 讀賣新聞

2005年(平成17年)6月2日 木曜日

## 都心など地震5回

1日夜から2日未明にかけ、東京湾を震源とする地震が5回あった。

最初は午後7時6分ごろ、東京都千代田区、三鷹市、神奈川県横浜市、川崎市などで震度2を観測。7時40分ごろにも、千代田区や目黒区、川崎市などで震度2だった。さらに、8時44分ごろには東京都大田区、横浜市、川崎市で震度3、10時過ぎと2日午前1時過ぎには千代田区などで震度1を観測した。

気象庁によると、震源の深さは約40〜50キロ。マグニチュードは最初が3・9、2回目が3・7、3回目

4・2、4回目が3・3と推定される。

一連の地震の震源付近はフィリピン海プレートが陸側のプレートに潜り込んでいる場所で、これまでもマグニチュード3〜4程度の地震が一定の割合で起きているという。ただ、立て続けに地震が発生したのは珍しく、同庁で推移を見守っている。3回目の地震の影響で、羽田空港では、点検のため2本の滑走路を午後8時47分から11〜13分間、閉鎖した。

3回目の地震で震度2を観測したのは次の通り。

東京都千代田区、世田谷区、町田市、神奈川県綾瀬市、相模原市、千葉県千葉市、浦安市、木更津市